

## フロリダ州南西部不動産開発事業の視察

5月3日、岡庭総領事は、Kitson & Partners 社(以下、K&P)がフロリダ州南西部フォート・マイヤーズ市近郊で建設中のバブコック・ランチ不動産開発事業(Babcock Ranch、以下、BR)を視察したところ、概要以下のとおり。

本件視察は、フロリダ州商工会会長も務める KitsonCEO が本官に対して、BRでエネルギーや水インフラ等に関する日本企業の最先端技術を導入したいと述べたことから、実施したものの。

### 1 K&P 概要(先方プレゼンを別添)

K&Pは、1992年に Syd KitsonCEOにより設立され、パームビーチ市に本社を置く不動産開発会社。フロリダ州を中心に150万平方フィート(約14万平方メートル)の商業施設を開発した実績がある。ジェブ・ブッシュ元州知事等が役員を務める。

### 2 BR概要

(1)約9000エーカー(当館注:約36平方キロメートルの敷地内にホテル3軒や各種スポーツ施設を含む600万平方フィート(約56万平方メートル)の商業施設、2万軒の住宅(5万人が居住)を建設予定である。

(2)K&Pは、土地造成、道路、自動運転車の導入、水インフラ整備、エネルギー・通信網整備、学校建設、セキュリティなどを担当する。他方、住宅は、土地を建設業者に販売し、同業者が住宅を建設、販売する。

(3)BCは2万人の雇用に貢献する。敷地は、シャーロット郡とリー郡にまたがっている。まだ住民はいないものの、既にBC内レストランは開業しており、BC内チャータースクールは今秋、開校する。

(4)電力は、BR敷地の一部をフロリダ州電力会社(FPL)に提供し、FPLが75MWの太陽光発電施設を設置済みである。FPLは、さらに75MWの太陽光発電施設を追加予定である。BRは、FPLから電力を購入する。日中の電力は太陽光パネル発電に頼り、夜間はガス発電に頼るが、将来的には、蓄電池導入により、夜間も含め全ての電力需要を太陽光で手当するべく、FPLと協議中である。

(5)BR開発完了のめどは20年位。ただし、これは今後どれだけ住宅が販売できるかにかかっている。

(6)BRは、史上もっとも持続可能な街を目指して以下を導入する。

(ア)水節約のために水リサイクルや自然雨だけで持続可能な地元品種植物の植樹を行う。水再利用のために日本企業の高度な水処理技術等にも関心がある。

(イ)スマートシティーに関しては、5GBのインターネット網整備、各住戸へのスマートメーターの設置、自動運転電気自動車の運行等を行う。

(ウ)(当方の説明を受けて)警備について日本企業の顔認識システムに関心がある。なお、本件については既にCISCOと協議中である。